

平和を実現する人たちは
幸いである。
その人たちは
神の子と呼ばれる。
マタイによる福音書5章9節

2025年8月10日（日）発行
宗教法人
野毛山キリストの教会
〒220-0032 横浜市内区老松町30番地

平和聖日

【聖句】¹⁴ 実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、¹⁵ 規則と戒律ずくめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、¹⁶ 十字架を通して、両者を「一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。」

(エフエスの信徒への手紙2章14節以下)

シローム、平和のつくり人より

マタイによる福音書5章9節

牧師 奈良 昌人

戦後80年の節目に「平和と聖日」に礼拝を献げることは主による恒久的の平和実現の第一歩です。この日は、故金児榮治牧師はじめ信仰の先達の主による戦争のないうちの平和への思いを次世代に伝へるための役割が私たちに与えられていることを自覚する日でもあります。旧約聖書のヘブライ語の「シャローム」という語には「平和」という意味がありますが、戦争の反対の概念としてこの平和のみならず、新聖書大辞典には「無事、安否、平安、健康、繁栄、安心、親和、和解など、人間の生のあらゆる領域にわたって真に望ましい状態を意味する語」と説明があり、最も高い理想的状态を意味するのだそうです。このような平和は神の恵みの賜物にほかならず、イスラエルでは現代でも（現実はどうであれ）戦争を回避し永遠に維持するべき大きな価値を持つものとして、挨拶の言葉として使われています。「シャローム」という言葉を互いに声に発して挨拶することにより、お互いの間にその言葉の表す「平和的・友好的な関係性」ができるようにと望んでいることに友ります。新約聖書によると、復活された主イエスは弟子たちのもとに現れた時に言われた言葉が「あなたがたに平和があるように。」と訳されていますが（新約聖書のギリシア語で、エイレーネー・ヒューミーンという言葉）、これはヘブライ語ではシャロームです。その通り、この「シャローム」は復活の主イエスが来られることにより与えられる神の愛と救いの現実そのもののなのです。

主イエスは「平和を実現する人々は、幸いである。聖書協会共同訳では、「平和を造る人々は、幸いである。」（一））その人たちは神の子と呼ばれます。」と言われ、私たちに神の子になるよう命じられます。この困難な課題に私たちはどのように取り組めばよいのでしょうか。それは、キリストの十字架を思い起こすことです。

【聖句】にあるように、主の十字架は、神さまから離れ自分勝手に生きている罪人である人間と創造主である神さまとの和解をもたらしてくださった出来事であり、人間同士の敵意（＝罪）も同時に主の十字架により取り去られたのです。その神の独り子キリストが実現された平和は、私たちが実現しようとする平和とは全

く異なり、無關心でも力でもなく、相手の敵意をその身にすべて引き受けて死ぬことによつて実現された平和です。十字架の死は、一見敗北ですが、その敗北に見えて十字架の死によつて敵意に勝利され、平和を実現してくださったのです。赦すのです。神の子イエス・キリストは、そのようにして、私たちの内に平和を実現してくださったのです。過ちは過ちとあえて認め、悔い改めて、シヤロームと挨拶しながら、平和をつくり人として、このキリストによる平和を一人でも多くの人が知ることができるよう、キリストの愛と平和を伝えて参りましょう。

被爆者2世としてヒロシマで生まれ育つて

澤野 信

2016年12月26日、広島
の地で84歳の生涯を終えた
父澤野四郎は、私が高校
2年生の時に94歳で生涯を
終えた祖母田鶴タツと一
緒に牛田の自宅で出掛ける
支度をしていた時に原爆が
投下された。8月6日
は月曜日でしたので、当時、
修道中学校1年生だった父は本来であれば登校してい
たはずだったが、前日に勤労奉仕で登校して、建物を壊
してスペースを広げるといふ作業の手伝いをしていた
ので代休で自宅にいたとのことでした。



碑には
『安らかに眠って
下さい。
過ちは繰り返しま
せぬから。』と
あります。
決して消えない平和
の灯、原爆ドームが
見えるようになって
います。



平和公園の被爆者祈念館には、登録された被爆者で亡くなった方が検索出来ます。「サワノ」に検索頂くところから私の親族(祖母・父・叔母2名)に検索出来ます。その中で「家族写真」をクリックすると白髪を抜こうとした縁側で母・正子が撮影した祖母、叔母、父、弟、そして私の写真が出て来ます。



言われるのがおこがましいとも申し添えておりました。

広島は有名な食べ物にお好み焼きがあります。こちからはもとも鉄鋼業が盛んだった広島で鉄板は入手し易く、鉄板一枚で食べられるという所から始まっている様です。私の子供の頃はそこいら中にお好み焼き屋さんがありました。土曜日は同級のサツカー部員は「かずちゃん」というお店に集まり、食べて、午後練習しました。店名に「みつちゃん」とか「かずちゃん」とか、人の名前がついているのも、焼け野原になった後に「わたしはここにいるよ」という目印にしていたという由来もあるそうです。

広島では、8月6日は小中高校は登校日です。登校日の日に、グループに分かれて①平和公園に出向いて訪れる観光客(特にアメリカ人を中心に)の声を聞く、②平和公園に行つて韓国の瓦を拾ひに行つて、③平和公園に行つて韓国人の慰霊碑の前で韓国人の話を聞きました。戦時中の日本も本当に残酷で酷かつたことを思い知らされました。

私は、原爆の恐ろしさを後世に引き継いで行くのに「はだしのゲン」ほど実感できる教本は他にないと思っております。原爆が落ちる前後について、作者である中沢啓治さんの実体験を「ゲン」という少年となつて残しておられます。中学校の図書館にあって、昼時間には昼食が終わつた後に図書室で没頭して何度も読み返しておりました。平和教育はずつと受けて来ましたが、私が生まれたのも被爆後たつた23年後ではないか、(最近の話じゃないかと改めて思つたものもずつと大人になつてからのような気がしております。

ヒロシマ・ナガサキと言われ続けながら、どこでも核兵器が何機と競つている意味がわかりません。80年前までの日本はどうだったのか?という現実には目を背けず、これから過ちを起こさないよう、戦争のや

てし平ふつ

和がて い世の中になることを心より願っている次第です。

聖書の言葉

平和を実現する人たちは
幸いである。
その人たちは
神の子と呼ばれる。
マタイによる福音書5章9節

シャロームタイムズ

2025年8月10日(日) 発行

宗教法人

野毛山キリストの教会

〒220-0032 横浜市区西老松町30番地

朗読詩

ひろしまの子

詩・四國五郎 絵・長谷川義史

朗読 澤野可奈

この絵本に書かれた詩は、絵と詩で反戦・平和を生涯にわたって訴え続けた、四國五郎さんの朗読詩をもとに、子どもたちにもわかりやすくしています。2024年に「日本原水爆被害者団体協議会」（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞したことは大変喜ばしいことです。けれども、今なお世界では戦火はやまず、核兵器廃絶の実現は依然遙かに遠く、また核実験などを含む世界の核被害者も十分な補償を受けられない状況が続いています。命を絶たれた時の年齢のまま、澄んだ瞳で見つめている「ひろしまの子」は、同時に、世界のあらゆる戦火で命を絶たれた無垢な子どもたちです。四國さんは「戦争や核の問題を自分のこととして考えることができるよう、話し合ってください。人の痛みを自分の痛みにも思える人にならなさい」と子どもたちに語り、「それが人間として最も大事なことです。」という強い思いがあったようです。この「ひろしまの子」がそのような「気づき」の機会となることを心より願ってやみません…と四國五郎さんの長男、四國光氏はあとがきで語っておられます。



あなたのとなりを 確かめてください。
そこには、ひろしまの子がいます。
泣きたいのを じっとがまんしているひとみに出会ったら そのひとみにこたえてやってください。
あなたの目で うなずき返してやってください。ひろしまの子にわかるように。
けっして再び あやまちは繰り返さない！
けっして 許さない！

Pray for Peace

平和を語る会 オンラインで参加の方より……

今年は、終戦から80年という節目の年に、平和聖日の礼拝に集うことが出来ました。ありがとうございます。平和を「実現する人」であれというメッセージ、澤野信さん・可奈さんのお話、朗読は、平和の体現そのものであると感じました。とても大切なことを考え共有する時間を頂き、ありがとうございます。

名古屋 澤井幸保

今まで知識としてだけあった「8月」について、恥ずかしながら初めて正面から向き合うことができました。「ヒロシマのある国で」は私が中学生の頃、歌詞の意味を考えるとなく合唱部が歌うのを毎年ただ漠然と聞いていた曲です。今回、身近に戦争体験のある方のお話があったので、ストレートに深く心に刺さり忘れられない一曲になりました。「破壊されて初めてその幸福が薄い硝子の上に乘っていたものだ」と気づく（鬼滅の刃）、それを改めて心に留めなくてはいいなと思ったとても有意義な会でした。今年の8月6日9日15日は、今までとは違う気持ちで迎えることになるそうです。

子どもの教会関係

「継承」ということ

1980年には37万人だった被爆された方は今年10万人を下回りました。かつて全国にあった被爆者団体が活動が困難という理由で今年12の道県で解散したそうです。いずれ被爆者なき時代がやってきます。今、一番の課題は「関心の低さ」だそうです。若い世代にとっては被団協がノーベル平和賞を受賞したことも知らず、原爆について固定観念の中であつた気になり、原爆など大きな話は自分には遠い話だと思つていて関心する人が多く、継承が形骸化している…「クローズアップ現代」において慶応大学教授小倉康嗣氏は言っておられました。そんな中で、どう継承していくか、根本的なことを考えなくてはならない、伝える側でなく、話を聴く側がどう受け止めて行くかが大切だと言われていました。現代は経験が隔離された時代で、SNSのフィルターバブルによって、自分の考え方や感じ方の枠を超えた人やモノとの出会いや経験の機会を制限されていることも、関心のなさには拍車をかけているのではないかと申しておられます。単なる事実を知るだけではなく、戦争体験をした方の話から、その想いや背負って積み重ねてこられた困難や差別、生きざまに出会っていく…そして、その想いを広げて、自分の人生や考え方、価値観にすり合わせていくことが継承になるのではないかと申しておられます。今回の平和を語る会で、被爆地ヒロシマにルーツのある澤野信さんからお話を伺えたことは大変貴重なことでした。澤野さんもおっしゃっておりましたが、お父さんが生きてこられたことによって澤野さんが在る…。まさに命の継承です。それと同時に澤野さんの中に想いも継承されています。それを聴いた私たちがまたその想いを広めていくことができた…と思います。(奈良亜樹子)

広島（ヒロシマ）

1945年（昭和20年）8月6日午前8時15分。原子爆弾リトルボーイは、第33代アメリカ合衆国大統領ハリー・S・トルーマンの原子爆弾投下の大統領命令を受けたB-29（エノラ・ゲイ）によって投下されました。

この1年に亡くなった方 4940人
計349246人

長崎（ナガサキ）

広島の日後の1945年8月9日午前11時2分、B-29（ボックスカー）が長崎市に原子爆弾ファットマンを投下しました。

この1年に亡くなった方 3167人
計201942人



平和への誓い

いつかはおとずれる、被爆者のいない世界。同じ過ちを繰り返さないために、多くの人が事実を知る必要があります。原子爆弾が投下されたあの日のことを、思い浮かべたことはありませんか。昭和20年（1945年）8月6日 午前8時15分。この広島に人類初の原子爆弾が投下され、一瞬にして当たり前の日常が消えました。誰なのか分からないくらい皮膚がただれた人々。涙とともに止まらない、絶望の声。一発の原子爆弾は、多くの命を奪い、人々の人生を変えたのです。被爆から80年が経つ今、本当は辛くて、思い出したくない記憶を伝えてくださる被爆者の方々から、直接話を聞く機会は少なくなっています。どんなに時間が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります。

世界では、今もどこかで戦争が起きています。大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。その事実を自分のこととして考え、平和について関心をもつこと。多様性を認め、相手のことを理解しようとする。一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはずで、周囲の人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないのでしょうか。One voice.

たとえ一つの声でも、学んだ事実の思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはずで、大人だけでなく、子どもである私たちも平和のために行動することが出来ます。あの日の出来事を、ヒロシマの歴史を、二度と繰り返さないために、私たちが、被爆者の方々の思いを語り継ぎ、一人一人の声を紡ぎながら、平和を創り上げていきます。

令和7年（2025年）8月6日

子ども代表

広島市立皆実小学校6年

広島市立祇園小学校6年

関口千恵瑠

佐々木 駿

いつも土浦の地で共に礼拝をささげている西川姉が体調を崩された中で次のように送ってくださいました。

私は戦時中4歳！

戦争恐怖の記憶は余りありませんが多くの親戚の皆さんがとても親身に可愛いがってくれたこと。他のことは何も覚えていないのに、小さな手で良仕事から帰ってくる叔母夫婦を、待ちながらお月様に、「父さん母さん無事でありますように…」とその頃は祈りでなく拝んでいたようです。18歳の時コーラス部でうたった歌が忘れられせん！。今もこの詩と今日に涙します。

『死んだ女の子』

①扉を叩くのはわたし
あなたの胸に響くでしょう
小さな声が聞こえるでしょう。
あたしの姿は見えないの。

②10年前の夏の朝
あたしは広島で死んだ
そのまま6つの女の子
いつまで経っても6つなの。

③あたしの髪に火がついて
目と手が焼けてしまったのあたしは
冷たい灰になり、
風でとおくへ飛び散った。

主による平和が、一日も早く訪れますことを心からお祈りします。土浦 西川 精子

この「死んだ女の子」は平和を訴え続けていた坂本龍一さんプロデュースで元ちとせさんが平和を願って歌われていることを知りました…